

4月の予定

- 6日 体験農園酵素づくり
- 13日 体験農園たけのこ掘り
- 27日 2024年度研修生入所式 10:30~

ご協力ありがとうございます！

【3月の寄付品】(敬称略)

竹中博子、樋口知佐子



体験農園だより

3月より令和6年度春夏作前期がスタートしました。今期は少し減って34組でスタートとなりました。初参加のグループはおられません。春夏作は初めての方がいらっしゃいます。昨年は豊作でしたので、今年も豊作となるように手入れを行えたらと思います😊今年も暑くなりそうですが、頑張らしましょう👏(飯川)



農場の研修風景

今年のトマト、ミニトマトの苗が史上最高の出来の悪さで、発芽した後全く大きくなりませんでした。温かくなればそのうちに大きくなるであろうと期待していましたがそれもむなしく、もう4月を迎えてしまいました。どうしてこのような生育になってしまったのか、いろいろ考えるのですが、やはり今年は暖冬ということで、全般的に温かい日が多かりましたが、それでも時折折る強烈な寒波がダメージを与えたのではないかと考えています。昔からよく言われています、「百姓は毎年1年生」という言葉を重く受け止めているこの頃です。(豊田)



太宰府天満宮見学

3月2日(土)、(株)ミネラルクリスターさんからのご招待で、坂本八幡宮さくら祭りに先輩と新しい研修生全員で行ってきました。時期的に桜は見られませんでした。心地よい春の風と木々の緑が晴れやかで、約1時間のライブ演奏を聴いて、研修生一同大いに盛り上がりました。また、ライブ演奏を聴いた後で太宰府天満宮を見学し、観光客がたくさんいましたが、境内に咲いている梅の花を見ながら楽しく散策しました。(豊田)



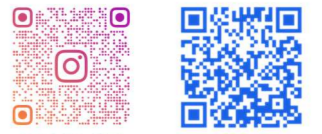
長崎県立大学学生短期合宿

3月4日(月)~5日(火)にかけて、毎年交流会等でお世話になっております、佐世保市にある長崎県立大学の学生5名(国際ガール2名、栄養ガール3名)が参加して、研修生との交流や農業体験、研修生の国の料理づくりなどをワイワイと楽しく行いました。学生の皆さんは非常に活発で積極的に研修生と交流を深め、お互いに楽しい思い出を作ることが出来ました。(豊田)



まるごと!西日本

2024年4月号



@OISCA_NTC Instagram facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
 福岡市早良区小笠木 678-1
 TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
 E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

令和5年度 オイスカ海外研修生研修修了式

3月9日、令和5年度の海外研修生研修修了式を行いました。昨年2月末に入学し、1年を通して環境保全型農業技術を学び、多くの皆様との交流や体験を通して、入学当時と比べて見違えるような成長を遂げてくれました。当日は200名近くの方々にお集まりいただき、研修生代表挨拶では、マレーシアのキチュ君が1年間の思い出とまるで家族のように接してきた同期の研修生への思いを伝えてくれました。3月15日にはそれぞれの母国に帰国しましたが、これからが彼らのスタートとなります。日本から持ち帰った多くの思いや技術を母国発展に使ってくれることでしょう。オイスカ会員、支援者の皆様、本当にありがとうございました。いつの日か彼らの国へ、活躍を見に行ってください。今後ともよろしくお願いいたします。(廣瀬)



オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟助成金贈呈

3月13日、福岡県議会議会棟にて、オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟より助成金を頂きました。毎年議員連盟の皆様からオイスカの人材育成事業にご協力頂き、今回も金60万円の助成を頂きました。当日は野原会長より贈呈頂き、蔵内相談役をはじめ、三役の皆様から暖かいお言葉を頂戴しました。本助成金につきましては、研修に役立つよう、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。(廣瀬)



研修生帰国 3月14、15日に2023年度の研修生が

センターを出発し、無事に帰国しました。出発当日、研修生達は寂しい気持ちと嬉しい気持ちが半々のようでした。これから母国で活躍されるのを楽しみにしています!(園田)



日本語のようす①

1 月末に来日した研修生たちの基礎研修は 2 か月が経ち、修了を迎えました。1 か月過ぎた頃、先輩研修生が帰国し、その後の彼らは、日本語を聞いたり話したりすることがめきめきと上達しました。個人差はありますが、1 人 1 人確実に上達していると思います。

●**A クラス**の研修生は、「みんなの日本語 I」のテキストを終え、漢字も 70 文字学習しました。途中で B クラスから合流したインド研修生も加わり、様々な話ができるようになりました。日本語能力試験の模擬試験も見事に合格点が取れるようになっていきます。

●**B クラス**の研修生は、ひらがなカタカナもスムーズに読めるようになり、「みんなの日本語 I」の 15 課まで学習しました。紅一点のフィジー研修生カロさんを筆頭に習った日本語を使って話すようになりました。最年長のベニさんは、理解することはでき、語彙も少しずつ増えているので、他の研修生同様に伸びしろがあります。

さて、基礎研修終盤に防犯交通教室を行いました。早良警察署から 3 名の方に来ていただいて、日本でのマナー(ごみの分別、公共施設での騒音)、在留カードの大切さ、詐欺などのトラブルに遭わないようになど、話をさせていただきました。日本での自転車のルールも学び、彼らの表情から、これから本格的に始まる日本での生活に期待と少しの緊張を感じました。

また、日本文化体験ということで、いつも日本語ボランティアとしてお世話になっている田中先生に書道を教えていただきました。筆の運び方の基本を学んだあとは、自分の名前の当て字と好きな漢字を書いてもらいました。墨のにおいが漂う中、集中して筆を運ぶ姿がとてよかったです。どことなく選んだ漢字や書かれた文字に性格も表れているような気がします。よい体験ができました。

4 月からは、農業実習中心の本研修が始まりますが、引き続き 1 週間に 1 回の日本語クラスで、サポートしていきます。
(立石考子)



防災訓練

3 月 28 日に福岡市博物館と防災センターへ行きました。博物館では研修生達は福岡の歴史に興味深そうに見ていました。大昔の村の様子、お墓、船の模型、侍の服などいろいろな時代のものが展示されてありました。昔のお皿をみて私の国にもこれがあると話している研修生もいました。3 月に行った大宰府の昔の様子なども映像で見ることが出来ました。

防災センターでは初めに 3D メガネを装着して 4D で火災の体験をしました。研修生達は予想以上にリアクションが大きかったです。その後、火災の避難訓練、消化訓練をしました。火災の避難訓練では煙が漂う中、足元にある非常誘導灯を元に脱出するというものでした。訓練用でいい匂いの煙を使っているそうです。全員脱出した後にスタッフの方から「いい匂いがした人はいますか？」と聞かれ何名か「匂いがしました」と答えていました。「匂いがしたということは煙を吸ったことになるので、これが実際の火事だと助かりません」と言われていました。消化訓練では「火事だー！」と「逃げろー！」を覚えてくださいとスタッフの方から言われ、しっかりメモをとる研修生もいました。最後に地震の揺れを体感できるコーナーへ移動して、震度 7 の揺れを体験しました。この体験では縦に 1cm、横に 20cm の揺れですが、東日本大震災では縦に 1m、横に 6m の揺れだったそうです。地震や災害はいつどこで起きるか分かりません。防災センターで勉強したことを覚えていてほしいなと思いました。



会員様のご紹介(株式会社 宇治川商店 様)

◆オイスカへの入会のきっかけ◆日本発の国際 NGO として、長年に渡る農村開発の実践を通じた人材育成や環境保全活動に感銘を受けたのをきっかけに 2005 年に入会させて頂きました。

◆オイスカへのメッセージ◆今日貧困や紛争といった社会・政治問題、気候変動による環境問題など国際社会の課題解決が求められる中、オイスカは 60 年以上前に「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指すと言われ設立されたと伺っています。オイスカの目指す世界の実現のためにこれからも継続的な活動を期待して我々もサポートして参ります。

◆会社紹介◆当社は昭和 30 年 1 月に六本松(現在 薬院)で創業して今年で 69 年目を迎えました。その間、送電線建設用資機材の卸販売を通じて九州における電力の安定供給を使命として地域の発展に貢献して参りました。近年では新たな商材の開拓や不動産事業にも事業領域を広げております。これからもニーズに応じた商材やサービスを探求し、お客様から信頼される会社であり続けたいと思っております。

株式会社 宇治川商店
代表取締役 嶋田 慎司
〒810-0022 福岡市中央区薬院 3 丁目 2 番 3 号
TEL 092-523-5111 FAX092-523-5112



八江農芸育種農場見学

3 月 12 日(火)帰国を控えた先輩研修生は、最後の研修ということで、短期外部研修でも大変お世話になった八江農芸様の育種農場に行ってきました。今回の研修では、野菜類の育種方法や栽培方法などをお話をいただき、新品種を作ることがいかに難しいかを理解することができました。今回の経験を活かしながら、帰国後おおいに活躍をしていただければと思います。
(豊田)



グリーンランドでエンジョイ

3 月 11 日、令和 5 年度の研修生、帰国前に楽しい思い出作りで荒尾のグリーンランドに行きました。会員企業の西部ガスホールディングス様のご厚意で毎年この時期に思い出作りをさせていただいています。研修生にとって初めての体験で、沢山のアトラクションを楽しみました。特にモンゴルのテクシー、インドのドウリッシャ、マレーシアのキチュ、フィジーのジョー、インドネシアのトゥリアは激しい乗り物が大好きで、あきれるほど次から次にトライ！他のエムナット、カルマ、アグスは全くダメで、カルマはひたすら食べに走っていました。

なかなかそれぞれの国でこれほどのアトラクションが揃っているところが無いようで、天候にも恵まれ、最後の思い出作りが出来ました。西部ガスホールディングス様、本当に感謝致します。

(廣瀬)

